仙台地域葬儀会館連絡協議会

現在 24 社

NO	会社名
1	株式会社 あいあーる 平安祭典
2	株式会社 浅野屋
3	有限会社 大友葬儀社
4	株式会社 菊地葬儀社
5	株式会社 くさかや
6	株式会社 ごんきや
7	有限会社 佐藤葬儀社
8	株式会社 城東
9	株式会社 清月記
10	株式会社 セレモニー吉岡
11	株式会社 センコンエンタープライズ
12	仙台斎場 株式会社
13	株式会社 たかはし葬儀社
14	有限会社 中田葬祭渡辺
15	株式会社 白寿殿
16	株式会社 八善堂
17	株式会社 花祭壇
18	株式会社 ベルコ
19	株式会社 ほこだて仏光堂
20	有限会社 渡源
21	アオバ葬祭 有限会社
22	株式会社 愛敬
23	有限会社のみやぎ葬祭
24	有限会社のハート葬祭

後援



第3回国連防災世界会議 in 仙台 ~~~~~ パブリック・フォーラム UN World Conference Disaster Risk Reduction and September 1983 Sended Japon



仙台地域葬儀会館連絡協議会

Sendai funeral hallcommunication council

東日本大震災の経験と教訓

~災害時の「弔い」の尊厳を如何に保つか~

The experiences and lessons from the Great East Japan Earthquake ~ How can we keep dignity of funeral? ~



2015

第1部:開会·基調講演10:00~11:30

第2部:特別講演・パネルディスカッション13:30~15:30 TKP ガーデンシティ仙台勾当台ホール 6 (3F)

主催 / 仙台地域葬儀会館連絡協議会

後援/宮城県葬祭業協同組合



仙台地域葬儀会館連絡協議会

本大震災の経験と教訓 ~災害時の「弔い」の尊厳を如何に保つか~

成27年3月17日(火) 10:00~15:30

第1部:開会・基調講演10:00~11:30 第2部:特別講演・パネルディスカッション13:30~15:30

場:TKPガーデンシティ 仙台勾当台ホール6

Program

■第一部

9:30 受付開始

開会・基調講演(菅原裕典) $10:00\sim11:30$

■第二部

13:00 受付開始

特別講演(堀江 裕) $13:30 \sim 14:00$

パネルディスカッション・閉会 $14:00 \sim 15:30$

第1部 開会・基調講演(10:00~11:30)

【基調講演】東日本大震災の災害対応の経験と教訓 ~葬祭事業者の存在意義と使命とは~

仙台地域葬儀会館連絡協議会 会長 菅原 裕典

2011年の東日本大震災の際には、自社の会館も被害を受けつつも、宮城 県葬祭業協同組合および仙台地域葬儀会館連絡協議会の震災対策本部長と して、棺の輸送と犠牲者の納棺業務を中心に現場を指揮。㈱清月記として 4月より石巻市の仮埋葬およびその後の掘り起し火葬業務を請け負う。



IIN World Conference on Disaster Risk Reduction

第2部 特別講演(13:30~14:00)

【特別講演】

「大震災発生時の墓地埋葬法の運用と御遺体への対応 ~多数の御遺体への迅速かつ礼意ある対応~」

元厚生労働省健康局生活衛生課長 堀江 裕

東日本大震災での体験を元に、「大震災発生時の経験と課題」について、 ご講演いただきます。



第2部 パネルディスカッション (14:00~15:30)

【パネルディスカッション】

東日本大震災の災害対応の経験と教訓~葬祭事業者の存在意義と使命とは~

■パネリスト

堀江 裕 (元厚生労働省健康局 生活衛生課長)

小林 正裕 (仙台市健康福祉局 衛生研究所 所長)

須田 昌義 (元石巻市役所生活環境部 部長) 西村 恒吉 (株式会社清月記 業務部 部長)

■コーディネーター

菅原 裕典 (仙台地域葬儀会館連絡協議会 会長)



元厚生労働省健康局 生活衛生課長 (平成22年9月~平成24年9月)

堀江 裕 (ほりえゅたか)

厚生労働省健康局生活衛生課長在任中に、東 日本大震災が発生し、墓地埋葬法担当課長と



小林 正裕 (Clitel https)

昭和54年仙台市役所入所 東日本大震災発生当時、健康福祉局生活衛生 課長として仙台市の食品衛生、生活衛生、墓 地、火葬場の各業務を担当。

平成24年4月から現職。



2011年3月11日。目を疑うような恐ろしさ光景を界中がほぼリアルタイムで見たのではないかと思います。この 震災で宮城県だけで約1万名の方が命を落としました。1万人の命の弔いに尽力した実体験者のディスカッション となります。行政と地域の葬儀社が連携して実施した弔いの経験と、そこから見えてきた課題について話していき

須田 昌義 (すだまさよし)

昭和50年石巻市役所入所 東日本大震災発生当時、生活環境部長として 石巻市における遺体安置所の運営管理、火葬 業務、廃棄物処理業務等を担当。



西村 恒吉 (にしむら こうきち)

東日本大震災発生当時災害支援のためのオペ レーションを担当。事務処理だけではなく現場 で納棺や仮埋葬を行い、掘り起しの際にはリー ダーを務め、震災全般の責任者としてその任務

仙台地域葬儀会館連絡協議会

「仙台地域葬儀会館連絡協議会」は仙台圏における葬儀会館の相互連携、協力とサービス・モラルの向上や大規模災害発生時に おける行政機関との連携等を推進し、職業を通じ社会的使命を果たし、地域社会に貢献することを目的とし、その目的に資する ための事業をおこなっている団体です。現在、24社の加盟で構成されております。